

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

22年10月22日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
岐阜県下呂地域・美輝の里 木質バイオマス燃料を用いた温室効果ガス削減事業 ～清流の郷 森林エネルギー循環プロジェクト～			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	馬瀬総合観光株式会社 (マゼソウゴウカンコウカブシキガイシャ)	印	
住所	岐阜県下呂市馬瀬西村 1 6 9 5		
代表者氏名	加藤 久人	代表者役職	代表取締役総支配人
担当者氏名	加藤 久人	担当者 所属部署・役職	馬瀬総合観光株式会社 代表取締役総支配人
担当者 E-mail	mail@mikinosato.co.jp	担当者電話番号	0576-47-2641
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	馬瀬総合観光株式会社		
プロジェクト参加者名	南ひだウッド協同組合		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	馬瀬総合観光株式会社		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他( )である。		

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報 <sup>2</sup>											
プロジェクト概要	<p>(プロジェクトの目的や具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p><b>【目的】</b> 間伐材を含んだ地域材を挽く地元の製材工場では、製材過程で発生する樹皮や端材等の未利用木質資源を、従来は焼却、廃棄処分していた。これを木質ペレットとして有効活用することによって、地域の林業・木材産業の振興を図ること及び化石燃料代替によるCO<sub>2</sub>排出量を削減することを目的としている。</p> <p><b>【内容】</b> 馬瀬総合観光株式会社が運営する温泉施設「美輝の里」における加温用ボイラーの燃料を、化石燃料から木質ペレットに転換する。従来は有効活用されることなく廃棄されていた未利用材を、木質ペレットの原料として活用、化石燃料の代替エネルギーとして利用することにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減及び地域森林資源のカスケード利用を促進する。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b> 条件1、条件2及び条件3のすべてを満たしており、適格性基準との整合が取れている。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b> 関係法令の手続き等を適切に行っている。</p> <p><b>【採用技術】</b></p> <table border="1" data-bbox="512 1086 1361 1267"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペレットボイラー PYROT540</td> <td>ヒラカワガイ ダム</td> <td>15年</td> <td>2009年10月</td> <td>出力 540kw (約 46 万 kcal/h) ボイラー効率 85%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【モニタリング方法】</b> オフセット・クレジット（J-VER）制度モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)に準拠して実施する。 ○モニタリングポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P1 木質ペレット重量（購買伝票による） …木質ペレットボイラー導入場所（プロジェクト事業者）</li> <li>・P2 電力消費量（購買伝票による） …木質ペレット製造場所（プロジェクト参加者）</li> <li>・P3 単位発熱量（外部機関にて測定する） …外部機関</li> <li>・P4 稼働時間（営業日報による） …木質ペレットボイラー導入場所（プロジェクト事業者）</li> </ul> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b> ベースライン排出量及びプロジェクト排出量の算定式は、化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替に関する方法論に準拠している。</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	ペレットボイラー PYROT540	ヒラカワガイ ダム	15年	2009年10月	出力 540kw (約 46 万 kcal/h) ボイラー効率 85%
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考							
ペレットボイラー PYROT540	ヒラカワガイ ダム	15年	2009年10月	出力 540kw (約 46 万 kcal/h) ボイラー効率 85%							

<sup>2</sup> プロジェクト情報は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを2ページ以内で記述してください。

**【モニタリング体制】**

木質ペレットボイラー導入場所（プロジェクト事業者）及び木質ペレット製造場所（プロジェクト参加者）において、各モニタリングポイントにおける測定・記録者を定めている。

プロジェクト代表事業者においては、モニタリング報告書の作成者、モニタリング報告書の承認者及び排出量削減量算定責任者を定めるとともに、内部監査体制についても定めている。

(1)モニタリングポイントにおける測定者・記録者

- ・ P1 プロジェクト事業者にて設置する。
- ・ P2 プロジェクト参加者にて設置する。
- ・ P3 外部機関に依頼する。
- ・ P4 プロジェクト事業者にて設置する。

(2)データの確認

プロジェクト事業者、プロジェクト参加者の代表者

(3)モニタリング報告書の作成者

プロジェクト代表事業者にて設置する。

(4)モニタリング報告書の承認者

プロジェクト代表事業者にて設置する。

(5)排出削減量算定責任者

プロジェクト代表事業者にて設置する。

(6)内部監査

下呂市の監査制度に基づく監査並びに会計監査員による社内監査を行う。

**【QA/QC 体制】**

教育訓練、情報の保管、データの確認、内部監査、測定機器の維持・管理等の体制について定めている。

(1)教育訓練

モニタリング及び排出削減量算定・報告に関する知識等を継続的に普及させ、排出削減量の把握における信頼性の確保に努める。具体的には、社内においてモニタリング体制やモニタリング手順、計量器の維持管理、モニタリング報告書記載方法等に付いての説明を行うこととする。

(2)情報の保管

検証機関が排出削減量の算定結果を再計算できるように、排出削減量を算定するために使用したすべてのデータを文書化し、保存することとする。

(3)データの確認

報告データの信頼性を高めるため、入力担当者自身による自己チェックのみではなく、データ集計にあたり算定担当者等による複数チェックを実施することとする。

(4)内部監査

社内で構築した体制や実施ルール、又はモニタリング方法ガイドラインに定められている事項に、組織の活動が適合しているか、あるいは効率よく機能しているかを確認するため、定期的に内部監査を行うこととする。

また、データのモニタリングや収集、排出削減量の算定、報告、チェック等の一連のプロセスで発見された課題や問題点について、是正・予防のための必要な措置を取ることとする。

①下呂市の監査制度による監査を年 1 回行う。

②会計監査員による社内監査を年 1 回行う。

(5)測定機器の維持・管理

自ら精度管理する計量器を使用したモニタリングは実施しないが、次の事項に留意することとする。

- ・ 電気事業者が設置した電力量計等のデータを用いるなど、購買量に基づくモニタリングを行う。
- ・ 稼働日数については、営業日報で確認する。

プロジェクト実施場所	岐阜県下呂市馬瀬西村 1 6 9 5						
プロジェクト期間	2009 年 10 月 16 日 ～ 2013 年 3 月 31 日（3 年 5 ヶ月）						
クレジット期間	2009 年 10 月 16 日 ～ 2013 年 3 月 31 日						
プロジェクト計画開始 届提出日	2010 年 9 月 6 日						
妥当性確認終了日	2010 年 10 月 22 日						
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2		161	361	361	361	1,244
適用実施規則	オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 ver. 2.1						
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (排出削減プロジェクト用) ver. 2.1						
適用方法論	方法論番号	JEAM002 ver. 4.0					
	方法論名称	化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替					
ダブルカウントの防止措置							
ダブルカウントの防止 の措置を講ずる事業 者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)						印
公的な報告・公表制 度(判明している公 的制度)	該当なし。						
自主的な報告・公表 対象(対象となるホー ムページ、環境報告 書等)	総会の場において、当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出 されるオフセット・クレジット（J-VER）の発行量及び移転量について報告す る。また、ホームページ上でも公表する予定。						
備考欄							

以上